



2023.10.23

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

子育てにやさしい社会を

少し前、ネットでこんなニュースが話題になりました。バスの中でお子さんが立って、高齢男性から「うるさい！黙らせろ！」と怒鳴られた二人のお子さんを抱えたお母さん。「すみません。次で降ります。」と言って、目的地はまだだったのに、お子さんを連れて早々にバスを降りられたとの事でした。

その記事を読んだ皆さんの反応は様々でした。「声をかけてあげられなくて申し訳なかった。」「バスの運転手さんにその場をなだめてほしかった。」「子育ては大変なんだから、もっと広い心を持って身守ってほしい。」「その多くはお母さんを心配する声でしたが、中には「男性もどこか具合が悪かったかも。」という男性側の目線からの意見もありました。それぞれの立場で、意見も変わるようです。

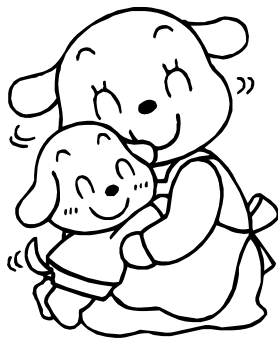
その男性はお子さんと接する機会がなかったと想像します。子どもはもともと泣くもの。赤ちゃんは泣くことで「お腹がすいたよ。おむつが濡れたよ。熱があるの。」と教えています。言葉を話すまでには多くの時間がかかりますし、言葉で内容を伝える事ができません。ほとんどが核家族となり、子どもの世話が親に任せられている時代だからこそ、『子どもが泣くことは当たり前、子育ては大変なもの。』と、社会全体が大らかな気持ちで受け止めてあげてほしいと思います。だって、私たちもその昔、子どもだったんですから。

子どもたちが成長し、やがてこの国を支えてくれる人になります。お子さんがいてもいなくても、私たち大人はやがて高齢になり、支えてもらう側になるのです。今、泣いている子どもたちもやがて成長し、支えてくれる人になるのだと思えば、一時の泣き声も「子どもが泣くのは当たり前。」と温かく見守って頂けないでしょうか。長い人生、世の中は持ちつ持たれつというゆったりとした心を、皆さんが持ってほしいと願うばかりです。



子どもたちからパワー！

時々、トイレで2・3歳児や年少の子たちのお世話を手伝います。しゃがんでパンツをあげたり、上靴を履かせたりするので、お子さんと丁度高さがぴったりとなり、両手で「抱っこ～」と甘えてくるお子さんもみえます。そういう時は、思いっきりギュッとハグしてコミュニケーションを取ります。それが私のパワーになるのです。



人から出るエネルギーは人に伝わります。コンサート会場、スポーツ観戦、大勢で踊る盆踊りなど、主催者や選手の皆さんのパワーが、多くの人たちに伝わり、さらに大きな広がりとなって会場がより一層盛り上がります。幼稚園で子どもたちと触れると、子どもたちのパワーが伝わって来て、そのパワーが私の元気の源になるのです。これは本当に不思議ですが、具合が悪い、体調がすぐれない等になったことがなく、こんなに自分が健康なのは、子どもたちの元気をもらっているお陰だと思えます。

健康は体だけでなく、心も伴わないと成り立ちません。心の健康も子どもたちの笑顔からもらっています。笑顔も伝染していきますよ。だって笑顔を向けられて、怒った顔で返す方はみえませんよね。自分も笑顔でいることが元気の秘訣だと思いました。

働き方改革はこんなところにも

今年、久しぶりに地元の小学校の運動会に来賓として参加させていただきましたが、その様変わりに驚くことばかりでした。まず「万国旗がない！国旗掲揚もない！」に始まって、開会式がなんと短い事。9月の終わりだったので、確かに残暑が厳しく熱中症対策は必要だと思いますが、児童会会長（6年生）の話と得点の数え方の説明のみで、校長先生の話が無い！すぐに競技が始まりました。コロナ明けで復活し、とってもしリムになった運動会は、先生たちの働き方改革にもつながっているのかなあとと思うと、変化も必要なのだと思いました。でも、昔の運動会を懐かしく思い出す自分に、時の流れを感じた日でした。

